

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。

ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

2009 応用情報技術者 午後問題の重点対策 第1版 第3刷

No.	訂正箇所	誤	正
1	P.133 例 SQL 2行目 行末の,をトル	AS SELECT 氏名,出身校 FROM 学生テーブル,	AS SELECT 氏名,出身校 FROM 学生テーブル
2	P.523 〔設問1〕 (2)の最終行へ(3) を追加	正	
		<p>(3) 「対応時間の短縮を図れたと考えられる確認事項」について問われている。〔トラブルの発生〕をチェックすると、(4)の「開発担当者からは“エラーの発生したプログラムは前週にリリースしたものであることから、プログラムに誤りがある可能性が高い。”という回答があった」という記述から、エラーの発生したジョブに関して、最近何らかのプログラムがリリースされたかを運用担当者が確認できていれば、対応時間の短縮を図れたと考えることができる。</p> <p>そこで、「リリース」というキーワードから、〔プログラムのリリース管理〕をチェックする。最初の段落にある「変更内容は、システム管理部門がリリース台帳で履歴を管理している」という記述から、これをチェックしていれば、エラーの発生したジョブに関して最近何らかのプログラムがリリースされたかを運用担当者が確認できた。したがって、「リリース台帳で、エラーが発生したジョブで最近何らかのプログラムがリリースされたかを確認する」という解答を導くことができる。</p>	

3	P.526 〔設問 1〕 (2)の最終行へ(3) を追加	正					
		(3) リリース台帳で、エラーが発生したジョブで最近何らかのプログラムがリリースされたかを確認する。					
4	P.536 〔設問 3〕 (2) 上から 1 行目	誤	正				
		1,400 万円	1,000 万円				
5	P.539 解説 下から 4 行目	400 - 300 = 100 万円	400 - 300 = 100 百 万円				
6	P.540 解答 下から 4 行目	営業利益 : 100 万円	営業利益 : 100 百 万円				
7	P.552 (1)の前へ表を追加	正					
		表 E 社製品の生産概要					
		製品名	最短の顧客 要求納期	製造に 必要な日数	出荷期限	昨年度の 1 営業日 平均受注数	昨年度の 1 営業日 最大受注数
		製品 X	2 日	6 日	180 日	50 個	60 個
		製品 Y	7 日	4 日	30 日	30 個	75 個
製品 Z	7 日	5 日	180 日	300 個	315 個		
		注 出荷期限 : 製造してから出荷までに許される最長日数					
8	P.122 上から 3 行目	元のレコードは、{商品コード, 単価, 単位, 数量, 単価} の部分が,	元のレコードは、{商品コード, 単位, 数量, 単価} の部分が,				
9	P.259 下から 5 行目	アクセス要求に関する(イ), (オ)	アクセス要求に関する(イ), (エ)				